

# 日本史

Ⅰ 次の文章を読んで、下記の設問(問1～問11)に答えなさい。

10世紀頃から、武芸に優れた都の武官や、土着した国司の子孫や地方豪族などが、武士として成長し、その地位を高めていった。朝廷は、すでに9世紀末には **1** として武士を宮中の警備に用いていたが、さらに積極的に登用するようになった。武士は一族や郎党などの従者を率いて、闘争を繰り返し、武士団として連合体を形成していった。

11世紀に入り、<sup>(A)</sup>各地で武士による反乱や、武士同士の争いが生じたが、朝廷はこれら反乱の鎮圧に武士を用いたため、その台頭が顕著となった。中でも清和天皇の子孫である清和源氏と、桓武天皇の子孫である桓武平氏が、武士の棟梁としてとくに有力となっていった。

他方、11世紀半ばまで、朝廷では天皇と姻戚関係を結んだ藤原氏が大いに権勢をふるっていたが、1068年に即位した **3** 天皇は藤原氏を外戚とせず、天皇親政を敷いた。 **3** 天皇は国政の改革に取り組んだが、なかでも<sup>(B)</sup>延久の荘園整理令を発して、荘園の増加に歯止めをかけることに成功したことが特筆される。

**3** 天皇の子である **4** 天皇も親政を敷いたが、 **4** 天皇は、堀川天皇に譲位したのちも上皇として院庁を開き、天皇を後見しながら政治の実権を握る<sup>(C)</sup>院政をおこなうようになった。その後も院政は堀川天皇の子の **5** 上皇、さらにはその子である **6** 上皇へと引き継がれ、100年余りも続いた。なお、 **4** 上皇も、僧兵らによる強訴を抑えるために、 **1** とは別に院御所に **2** を設けている。

**5** 上皇の死後、朝廷内で実権をめぐる争いが起きたが、これに武士が本格的に介入することになる。1156年に、 **6** 天皇と崇徳上皇との間で起きた争乱(保元の乱)では、<sup>(D)</sup>平清盛と源義朝らの協力を得た **6** 天皇が勝利した。その後、1159年には平清盛と源義朝の間で勢力争いがおき(平治の乱)、これに勝利した平清盛は、武家の棟梁としての地位を高め、 **7** となるなど、武士として初めて政治の実権を握った。

平清盛は、自らの娘を天皇の后にし、外戚として権勢をふるうなど、<sup>(E)</sup>平氏政権は貴族的な性格を多分に持つ政権であった。平氏政権は一時栄華を極めたが、一門による官職の独占を図るなどの平氏の専横は反対勢力の結集を促すことになり、院と結んだ源頼朝を棟梁とする源氏によって滅ぼされた。本格的な武家政権はこの源頼朝による鎌倉幕府の開設を待たなければならなかったのである。

この時代の文化的な特色としては、従来の貴族文化(国風文化)に、こうして新たに台頭してきた武士や庶民とその背後にある地方文化が取り入れられるようになってきたことがあげられる。奥州藤原氏によって建立された **8** など、地方豪族が建立した阿弥陀堂が各地に残されているほか、 **6** 上皇がみずから今様といわれる民間の流行歌謡を学んで編んだ **9** も特徴的である。このほか<sup>(F)</sup>和文体の優れた歴史物語が著されるようになったのも、この時期である。

問1 文中の空欄 **1** ~ **2** に入る語句を次の①~⑧の中から一つずつ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 西面の武士      ② 北面の武士      ③ 滝口の武士      ④ 検非違使  
⑤ 押領使      ⑥ 追捕使      ⑦ 勘解由使      ⑧ 蔵人頭

問2 文中の空欄 **3** ~ **6** に入る人物名を次の①~⑫の中から一つずつ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 安徳      ② 後鳥羽      ③ 土御門      ④ 後白河  
⑤ 高倉      ⑥ 冷泉      ⑦ 鳥羽      ⑧ 三条  
⑨ 近衛      ⑩ 後三条      ⑪ 白河      ⑫ 後冷泉

問3 文中の空欄 **7** に入る語句を次の①~④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 関白      ② 摂政      ③ 太政大臣      ④ 征夷大將軍

問4 文中の空欄 **8** に入る語句を次の①~④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 中尊寺金色堂      ② 平等院鳳凰堂      ③ 富貴寺大堂      ④ 三仏寺投入堂

問5 文中の空欄 **9** に入る語句を次の①~④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 和名類聚抄      ② 愚管抄      ③ 山家集      ④ 梁塵秘抄

問6 下線部(A)に関する記述として誤っているものを次の①~④の中から一つ選び、その番号を **10** にマークしなさい。

- ① 清和源氏の源頼信は、上総で起きた平忠常の乱を平定し、源氏の東国進出のきっかけをつくった。  
② 平氏一族の平将門は、瀬戸内海の子官を率いて反乱を起こし、新皇を自称したが、平貞盛・藤原秀郷らによって討たれた。  
③ 源頼義とその子源義家が出羽の豪族清原氏の助力を得て、陸奥北部の豪族安倍氏を滅ぼした。  
④ 陸奥・出羽両国で大きな勢力を有していた清原氏の内紛に源義家が介入し、これを制圧した。

問7 下線部(B)に関する記述として誤っているものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を **11** にマークしなさい。

- ① 記録荘園券契所を設けて徹底的な審査を実施し、基準を満たさない荘園を次々と停止した。
- ② 当時中央の権力者に寄進された荘園の増加が、公領(国衙領)を圧迫していた。
- ③ 荘園が整理されることにより、荘園と公領(国衙領)とで構成される荘園公領制に移行していった。
- ④ これとあわせて、枳の大きさを一定にするため、国家公定の枳である宣旨枳が定められたが、まったく普及しなかった。

問8 下線部(C)に関する記述として誤っているものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を **12** にマークしなさい。

- ① 院庁からくだされる文書である院庁下文や、院の命令を伝える院宣が、国政一般に効力を持つようになった。
- ② 出家して法皇となった後も、さらに院政が続けられるとともに、天皇家により法勝寺や尊勝寺などのいわゆる六勝寺が造営され、仏教が厚く信仰された。
- ③ 院庁の職員である院近臣として、とくに藤原通憲(信西)が著名である。
- ④ 上級貴族に一国の支配権を与える院分国制度や、上皇自身が国の収益を握る知行国制度が広まった。

問9 下線部(D)に関する記述として誤っているものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を **13** にマークしなさい。

- ① 瀬戸内海航路をととのえ、大輪田泊(神戸港)を修築して、宋船を畿内まで引き入れた。
- ② 荘園や公領の現地支配者である地頭に任命することにより、西国一帯の武士を家人とすることに成功した。
- ③ 日宋貿易に力を入れ、輸入品として銅銭(宋銭)、輸出品として金、水銀および漆器などが主に扱われた。
- ④ 反平氏運動に応じて奈良や京都の寺社勢力が蜂起したことから、これを避けるために、平氏が滅亡するまでの間、都を福原に移していた。

問10 下線部(E)について、平氏一門がその繁栄を祈願し、「平家納経」と呼ばれる豪華な装飾経を奉納した神社を次の①～④の中から一つ選び、その番号を **14** にマークしなさい。

- ① 出雲大社                      ② 伊勢神宮                      ③ 厳島神社                      ④ 太宰府天満宮

問11 下線部(F)について、いわゆる「四鏡」の一つであり、作者は不詳だが、主に藤原道長の栄華を軸に書かれたこの時期の作品を次の①～④の中から一つ選び、その番号を  にマークしなさい。

① 大鏡

② 今鏡

③ 増鏡

④ 水鏡

Ⅱ 次の文章を読んで、下記の設問(問1～問14)に答えなさい。

豊臣政権において五大老の筆頭であった<sup>(A)</sup>徳川家康は、1600年、天下分け目の戦いといわれる関ヶ原の戦いで、五奉行の一人であり、豊臣政権の存続をめぐって対立していた<sup>[16]</sup>らの軍勢に勝利した。その後、1603年に徳川家康は征夷大將軍の宣下を受けて、江戸に幕府を開いたが、將軍職が徳川氏の世襲であることを諸大名に示すため、1605年には、子の徳川<sup>[17]</sup>に將軍職をゆずり、みずからは大御所として幕政の実権を握った。

幕府は、1615年、大坂の役で豊臣氏を滅ぼした直後に、一国一城令を出して大名の居城を一つに限定するとともに、<sup>(B)</sup>武家諸法度を定め、大名をきびしく統制した。大名は、戦時に備え、領地の石高に応じて一定の兵馬を常備し、將軍直属の家臣団である旗本・御家人とともに軍役を負担した。また、3代將軍徳川<sup>[18]</sup>の時代には、大名に、国元と江戸とを原則として1年交代で往復する<sup>(C)</sup>参勤交代が義務づけられ、大名の統制が徹底された。こうして、この頃までに、<sup>(D)</sup>將軍と諸大名との主従関係が確立し、強力な領主権を持つ幕府と藩が全国の土地と人民を支配する幕藩体制が整った。

幕府の職制も、徳川<sup>[18]</sup>の時代までに整った。幕政の中核において政務を統括する老中をはじめ、<sup>(E)</sup>大名や旗本・御家人を監察する諸役、そして、そのほかの諸政務を担う三奉行などの諸役がおかれ、また、役職をまたがる事項などの裁決をおこなう<sup>[19]</sup>が設けられた。地方組織としては、京都に、朝廷の監察・統制と西国大名の監視とをおこなう京都所司代がおかれたほか、地方の要地には、<sup>(F)</sup>町奉行や奉行がおかれた。また、<sup>(G)</sup>幕府の直轄領には、郡代や代官が配された。

こうして幕藩体制が確立していく中、<sup>(H)</sup>開幕当初には海外貿易に積極的であった幕府は、キリスト教の禁教政策のために、そして、西国大名が貿易によって富強になることを恐れて、次第に日本人の海外渡航や貿易に制限を加えるようになった。1624年には、スペイン船の来航が禁じられ、1635年には、日本人の海外渡航と在外日本人の帰国が禁止された。そして、<sup>(I)</sup>島原の乱の後の1639年には、ポルトガル船の来航が禁止され、1641年には、オランダ商館が長崎の出島に移されて、いわゆる鎖国の状態となった。これにより、<sup>(J)</sup>オランダ船と中国船のみが長崎港に来航して貿易をおこなうようになり、日本では、以後、200年以上の間、これ以外の異国や異民族との交流は、原則として、<sup>(K)</sup>朝鮮国、琉球王国、アイヌ民族に限定されることとなった。

問1 文中の空欄<sup>[16]</sup>に入る人物名を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 毛利輝元      ② 浅野長政      ③ 石田三成      ④ 小早川隆景

問2 文中の空欄<sup>[17]</sup> <sup>[18]</sup>に入る人物名を次の①～⑧の中から一つずつ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 家継      ② 綱吉      ③ 家光      ④ 家重  
⑤ 家綱      ⑥ 秀忠      ⑦ 家宣      ⑧ 吉宗

問3 文中の空欄 19 に入る語句を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 問注所                      ② 雑訴決断所                      ③ 引付                      ④ 評定所

問4 下線部(A)をまつる日光東照宮を特徴づける建築様式を次の①～④の中から一つ選び、その番号を 20 にマークしなさい。

- ① 数寄屋造                      ② 神明造                      ③ 書院造                      ④ 権現造

問5 下線部(B)に関する記述として誤っているものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を 21 にマークしなさい。

- ① 南禅寺金地院の崇伝が起草した。  
② 徳川家康の名で発布された。  
③ 建武式目や分国法などをもとに作成された。  
④ 安芸・備後を領有した福島正則は、この法の違反により改易された。

問6 下線部(C)に関する記述として誤っているものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を 22 にマークしなさい。

- ① 1635年に発布された武家諸法度において定められた。  
② 大名は妻子をつれて、国元と江戸とを往復した。  
③ 大名行列や江戸に藩邸をおくための多額の出費は大名にとって大きな負担となった。  
④ 交通が発達し、江戸の繁栄や宿駅の発展をもたらした。

問7 下線部(D)に関連して、儒学者として徳川家康に仕えた人物を次の①～④の中から一つ選び、その番号を 23 にマークしなさい。

- ① 山崎闇斎                      ② 新井白石                      ③ 木下順庵                      ④ 林羅山

問8 下線部(E)のうち、老中のもとで、大名の監察を担った役職を次の①～④の中から一つ選び、その番号を 24 にマークしなさい。

- ① 大老                      ② 若年寄                      ③ 大目付                      ④ 側用人

問9 下線部(F)がおかれた都市として適当でないものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を 25 にマークしなさい。

- ① 伏見                      ② 駿府                      ③ 京都                      ④ 大坂

問10 下線部(G)の17世紀末におけるおおよその石高を①～④の中から一つ選び、その番号を **26** にマークしなさい。

- ① 100万石      ② 200万石      ③ 300万石      ④ 400万石

問11 下線部(H)に関する記述として誤っているものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を **27** にマークしなさい。

- ① 仙台藩主伊達政宗は、メキシコとの貿易を求めて、家臣の支倉常長をスペインに派遣した。  
② 幕府は商人たちに朱印状を与えて海外渡航を許可し、朱印船貿易が盛んとなった。  
③ 日本人の海外移住が多くなり、東南アジアの各地に自治制をとる日本町がつくられた。  
④ タイに渡航した田中勝介は、アユタヤ朝の王朝に重用された。

問12 下線部(I)に関する記述として誤っているものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を **28** にマークしなさい。

- ① 領主による苛酷な年貢の賦課とキリスト教徒の弾圧に抵抗する農民たちの一揆であった。  
② 反乱のおこった島原半島と天草諸島はかつてキリシタン大名の有馬晴信と小西行長の領地であった。  
③ 一揆勢は益田(天草四郎)時貞を首領として原城跡に立てこもった。  
④ この乱の後、幕府は当初直轄領に出した禁教令を全国におよぼし、キリスト教徒に対して改宗を強制した。

問13 下線部(J)について、この貿易における輸出品として適当でないものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を **29** にマークしなさい。

- ① 銀      ② 銅      ③ 生糸      ④ 海産物

問14 下線部(K)との、この時期の外交において特権的な地位を与えられた藩主を次の①～④の中から一つ選び、その番号を **30** にマークしなさい。

- ① 宗氏      ② 松前氏      ③ 島津氏      ④ 尚氏



Ⅲ 次の文章を読んで、下記の設問(問1～問15)に答えなさい。

1945(昭和20)年、日本はポツダム宣言を受諾し、連合国に占領されることになった。マッカーサー元帥を最高司令官とする連合国軍最高司令官総司令部(GHQ)の指令・勧告にもとづいて日本政府が政治をおこなう、(A)間接統治の方法がとられた。占領統治下の日本で最初に組閣されたのは **31** 内閣であった。しかし(B)GHQの占領政策と対立し、内閣は総辞職した。かわって、かつての協調外交で米・英側にも良く知られていた **32** が首相に就任すると、マッカーサーは日本の非軍事化・民主化を進めるために、(C)婦人(女性)参政権の付与、(D)労働組合の結成奨励、(E)教育制度の自由主義的改革、秘密警察などの廃止、(F)経済機構の民主化、などのいわゆる五大改革を指示した。

また、GHQは **32** 内閣に憲法改正を指示し、改正試案が作成された。しかし、その内容は依然として天皇の統治権を認める保守的なものであったため、GHQは英文の改正草案を急ぎょ作成し、日本政府に提示した。日本政府はこれを若干修正し和訳したものを政府原案として発表し、1946(昭和21)年11月3日、**33** 内閣のもとで、(G)日本国憲法として公布した。

一方、朝鮮半島では、1948(昭和23)年、ソ連軍占領地域に朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)が、アメリカ軍占領地域には大韓民国(韓国)が建国され、南北分断状態が固定化した。しかし1950(昭和25)年6月、中国革命の成功に触発された北朝鮮が、武力統一をめざして北緯38度線をこえて韓国に侵攻し、朝鮮戦争が始まった。アメリカは朝鮮戦争に介入するため、多くの軍需品を日本に発注した。これにより(H)日本経済は活気づいた。朝鮮戦争が始まると、GHQは在日アメリカ軍が朝鮮に動員されたあとの軍事的空白を埋めるために、**34** の新設を指示し、旧軍人が採用されていった。

アメリカは朝鮮戦争で日本の戦略的価値を再認識し、占領を終わらせて日本を西側陣営に早期に編入しようとした。1951(昭和26)年9月、サンフランシスコで講和会議が開かれ、日本と48カ国とのあいだで(I)サンフランシスコ平和条約が調印された。翌年4月のこの条約の発効により、約7年におよんだ占領は終結し、日本は独立国としての主権を回復したが、(J)領土についてはきびしい制限が加えられた。

GHQによる一連の占領改革によって、思想や言論に対する国家の抑圧が取り除かれ、従来の価値観・権威は大きく否定された。たとえば(K)文学では、社会の常識や既成のリアリズムに挑戦する作品や、自身の過酷な戦争体験を表現する作品などが現れた。

問1 文中の空欄 **31** に入る人物名を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 鈴木貫太郎      ② 近衛文磨      ③ 東条英機      ④ 東久邇宮稔彦

問2 文中の空欄 **32** に入る人物名を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 幣原喜重郎      ② 小磯国昭      ③ 芦田均      ④ 片山哲

問3 文中の空欄 **33** に入る人物名を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 鳩山一郎                      ② 岸信介                      ③ 吉田茂                      ④ 石橋湛山

問4 文中の空欄 **34** に入る語句を次の①～④の中から一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 特別高等警察                      ② 警察予備隊                      ③ 自衛隊                      ④ 保安隊

問5 下線部(A)に関する記述として誤っているものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を **35** にマークしなさい。

- ① ポツダム勅令によって、法律の制定をまたずに占領軍の要求は実施された。  
② 連合国による対日占領政策決定の最高機関として対日理事会がおかれた。  
③ アメリカ政府主導で占領政策が立案・実施された。  
④ マッカーサーは日本政府の措置に不満の場合、直接行動をとる権限を持っていた。

問6 下線部(B)について、この時にGHQが出した方針として誤っているものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を **36** にマークしなさい。

- ① 共産党員の公職追放                      ② 政治犯の即時釈放  
③ 治安維持法の廃止                      ④ 天皇に関する自由な議論

問7 下線部(C)に関する記述として誤っているものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を **37** にマークしなさい。

- ① 衆議院議員選挙法の改正によるものであった。  
② 戦後初の総選挙では39名の女性議員が誕生した。  
③ 新選挙法の制定により、有権者数がこれまでの3倍近くに達した。  
④ 満18歳以上の成人男女に選挙権が与えられた。

問8 下線部(D)に関連して、この時期に制定された労働三法ではない法律を次の①～④の中から一つ選び、その番号を **38** にマークしなさい。

- ① 労働組合法                      ② 労働基準法                      ③ 労働契約法                      ④ 労働関係調整法

問9 下線部(E)に関する記述として誤っているものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を **39** にマークしなさい。

- ① 義務教育が実質6年から9年に延長された。
- ② 都道府県・市町村ごとに、任命制による教育委員会が設けられた。
- ③ 教育の機会均等や男女共学の原則をうたった教育基本法が制定された。
- ④ 学校教育法により六・三・三・四制の新学制が発足した。

問10 下線部(F)に関する記述として誤っているものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を **40** にマークしなさい。

- ① 持株会社整理委員会が発足し、財閥解体が進められた。
- ② 過度経済力集中排除法によって巨大独占企業の分割がおこなわれることとなった。
- ③ 第一次農地改革の際、自作農創設特別措置法が定められ、地主制解体が進められた。
- ④ 農地改革によって、農家の大半が1町歩未満の零細な自作農となった。

問11 下線部(G)に伴い、多くの法律の制定や改正がおこなわれたが、それに関する記述として誤っているものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を **41** にマークしなさい。

- ① 民法の改正により、男女同権の新しい家族制度が定められた。
- ② 刑法の改正により、大逆罪・不敬罪・姦通罪などが廃止された。
- ③ 地方自治法が成立して、都道府県知事・市町村長が公選となった。
- ④ 警察法が公布・施行され、国家地方警察が廃止された。

問12 下線部(H)について、朝鮮戦争以降の日本に訪れた大型景気を年代の古い順に並べたものとして正しいものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を **42** にマークしなさい。

- ① 神武景気 → 岩戸景気 → いざなぎ景気 → 特需景気
- ② 特需景気 → 神武景気 → 岩戸景気 → いざなぎ景気
- ③ いざなぎ景気 → 岩戸景気 → 神武景気 → 特需景気
- ④ 特需景気 → いざなぎ景気 → 岩戸景気 → 神武景気

問13 下線部(I)について、講和会議に出席したが調印しなかった国を次の①～④の中から一つ選び、その番号を **43** にマークしなさい。

- ① 中華人民共和国
- ② ソ連
- ③ インド
- ④ 中華民国

問 14 下線部(J)について、日本が放棄することとなった領土として誤っているものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を **44** にマークしなさい。

- ① 台湾                      ② 千島列島                      ③ 南樺太                      ④ 小笠原諸島

問 15 下線部(K)について、占領下の時期における文学作品とその作者の組み合わせとして正しいものを次の①～④の中から一つ選び、その番号を **45** にマークしなさい。

- ① 『細雪』 — 坂口安吾                      ② 『太陽の季節』 — 三島由紀夫  
③ 『俘虜記』 — 大岡昇平                      ④ 『飼育』 — 太宰治